



月刊

UWC ニュース

Ushiku Walking Club News

発行:牛久ウオーキングクラブ

発行者:会長 望月 諭

UWC QRコード

連絡先:藤田

080-1976-0223



強まる日差しに夏の気配が漂う七月。

7月は、七夕(7月7日)や土用の丑の日など、夏の訪れを感じる日本の伝統行事や風物詩が盛りだくさんの季節です。

夏休みやお祭りシーズンも始まり、わくわくするような楽しいお話にあふれています。暑さ対策をして無理のない心地よいペースで季節の変化を楽しみながら歩きましょう。

7月定例会等

開催日	概 要
1 日(水)	イオンモール土浦ウォーキング教室 ●スタッフ集合時間・場所 9:00 牛久中央生涯学習センター 直行するスタッフは 9:40 に指定駐車場に集合 ※ウォーキング参加者は 10:00 イオンモール土浦花火広場集合
5 日(日)	田宮公園コース 6.0km ●集合時間・場所 7:00 牛久中央生涯学習センター ●歩行担当 B グループとするが、運営委員は適宜フォローに回る事 ☆午後運営委員会 13:30～
12 日(日)	駅からウォーキング ～とりかんヘルスロードを歩く～ ☆当日牛久駅到着後「華屋与兵衛」にて暑気祓い昼食会が開催されます。 ●距離 7.5km ●スケジュール(雨天の場合は暑気祓いのみ) ●集合時間・場所 8:00 牛久駅東口広場 牛久駅 8:15 発上り 13、14 車両乗車→8:30 取手駅着(東口広場でストレッチ)→弘経寺→取手競輪場(トイレ)→東漸寺→JA 農産物直売所→11:00頃取手駅到着予定→11:13 取手発→牛久駅 11:26 着 暑気祓い参加者は「華屋与兵衛」に 11:40 までに集合 ☆交通費往復 ¥506 ●持ち物 飲み物、帽子着用 ■暑気祓い概要(申込案内書参照) 開始時間 11:45開始～13:45 頃終了 ※定刻になりましたらはじめさせていただきます。
19 日(日)	●例会お休み
25 日(土)	牛久かつぱ祭り実行委員会を立ち上げ、踊りパレード参加者を募集して参加する。 ☆実行委員長 企画部 藤本利之さん 実施要領等詳細は市より情報を入手次第案内します。
26 日(日)	シャトー通り散策コース ●距離 4.0km ●集合時間・場所 7:00 牛久生涯学習センター ●歩行担当 B グループとするが、運営委員は適宜フォローに回る事

8月の予定

- ▲ 2 日(日) みどり野児童公園コース 6.0km
☆午後営委員会
- ▲ 5 日(水) イオンモール土浦ウォーキング教室
- ▲ 9 日(日)、16 日(日)、23 日(日) 夏休み
- ▲ 30 日(日) 高崎自然の森(日陰短縮コース)
(8.0kmを 6.0kmに短縮)

JWA・IWA等、上部団体等の報告・お知らせ

(1) JWA・IWA 関連

① IWA 大会報告

・第 19 回つくば国際ウォーキング大会

6 月 7 日(日) 開催終了・報告

科学万博記念公園スタート&ゴール

距離 35 km、14 km、10 km

参加者 466 名(速報値)

スタッフ 4 名派遣(望月、藤田、大野、栗原)

② IWA 大会予定

・5 県ウォーク 9 月 26 日(土) (自由参加)

古河市ゴルフリンクス・田中正造翁碑スタート・ゴール

(50 km、20 km、12 km)

※UWC からスタッフ派遣 4 名予定

UWC 関連

■運営委員会メンバー役割分担表の更新版が配布され、部分手直しされて了承されました。

■秋の研修ウォークについて、牛久市バスの利用規約が改定されて泊りがけのバス利用ができなくなった為、今期秋の研修ウォークは中止方向で計画の見直しをすることになった。

■かつぱ祭り実行委員会立ち上げ・人事決定
委員長 藤本利之、事務局 日野功史で次回定例会から参加者募集チラシを配布する。

■7 月 12 日の暑気祓いについて、値段が決まり次回定例会から募集開始する。(担当総務)

■会計より予算執行状況の資料提示・説明があり質疑の上了承された。



牛久ウオーキングクラブ 5月定例会 2026.5.31

春のバスハイク ～ 栃木県那須烏山を五感で感じる ～ 5.6km

見て・たべて・学んだ ウォーキング

初夏の那須烏山を探索してきました。最初の龍門の瀧は緑深い中にあり水量が少なく、写真のような迫力はありませんでしたが、深い緑の中で白い水しぶきは存在感がありました。一度行ってみたかった「どうくつ酒蔵」は総延長 600m、年間平均 10℃の手堀のトンネルでした。暑い中歩いて来たからその清涼感は最高でした。昭和 19 年に地域の青少年を動員して地下の軍需工場として作られたと聞いて、私の生まれた年と同じでびっくりしました。天井や壁には手掘りの「のみ」の跡もあり、当時の悲惨な状況を見る思いがしましたが、酒の貯蔵には非常に適していて、まろやかな美味しい酒になると聞いて救われた気がしました。

昼食は、川沿いの「やな小屋」で名産の美味しい鮎の塩焼きをいただきました。シーズン前で川には「やな」が造られていませんでしたが雰囲気は伝わりました。最後に行った「なかがわ水遊園」は広い芝生の中央に池があってその中に熱帯植物園のようなガラス張りのドームが「おもしろ魚館」でした。空には臨場感あふれる銀色の鮎の群れが風にたなびいて泳いでいました。中に入るとそこらの小川にいる身近な魚から、アマゾン川の大きな魚や珍しい魚が一杯！生息している場所の雰囲気を演出した水槽の中で元気に泳いでいました。久しぶりに童心に帰って興奮しました。今回も地域の伝統や美味しい食べ物、思いがけない水族館などで楽しくも勉強にもなったウォーキングでした。スタッフの皆さんありがとうございました。

